

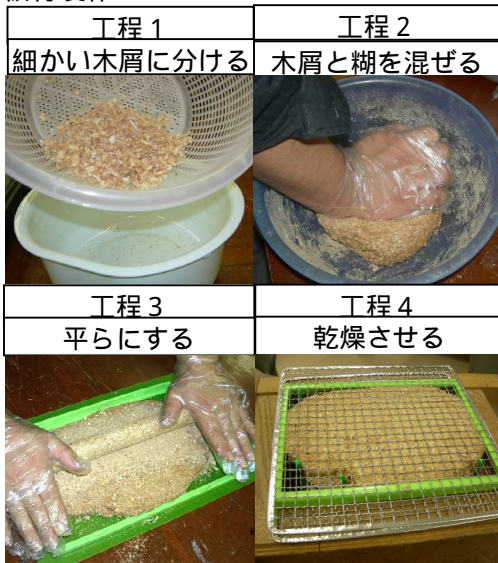
[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙 1 枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	茨城大学 大学院	個人・ グループ 名	落合 淳平	作品 名	土に埋められるものづくり (ブックエンド・コースター)
-----	-------------	------------------	-------	---------	--------------------------------

<製作の動機・目的>

環境問題は深刻になってきている。そのため、ものづくりを行う場合、環境を考慮するという視点が重要になってくる。そこで、木製品をつくる際に出る木屑を利用して製品を作ることにした。しかし、環境を考慮するからといって木製品の接着剤として酢酸ビフェニール樹脂エマルジョンなどを使用することが本当によいのか疑問である。そこで、不要になったら、土に埋めることができ、環境に負荷の少ない木質製品を製作することにした。

<板材製作>



材料表

	木屑	水	片栗粉
ブックエンド	150 g	375cc	大さじ 15
コースター	50 g	125cc	大さじ 5

糊の作り方

材料の配分で水と片栗粉を混ぜる。

中火でかき混ぜながら、固まるまで温める。



<利用方法>



<作品自体やその製作過程で工夫したこと>

製品を製作する上で、優先すべき条件は丈夫さやデザインなど必要とする人によるものである。私の優先する条件は「環境を考慮すること」を最優先に考え、製品としての機能を果たすこととする。

《工夫 1：糊》

木屑を固めるために使用した糊は市販の片栗粉を使用した。このことで製作品をそのまま地面に埋めても、土に戻ることで環境に配慮した。



《工夫 2：乾燥》

木屑と糊を混ぜるにあたり、片栗粉が均一でないために変形が起こる。そこで、網を使用し、平面を保つようにした。

